

③ 造血幹細胞（血液の種）とは？

ヒトは60兆個という膨大な数の細胞で成り立っていますが、元々は1個の受精卵からできます。20兆個もある血液細胞も、実は1個の「種」からできるのです。これを造血幹細胞と呼びます。一本の木に無数の葉っぱや実がなっているように、それを支えるのは一本の幹です。つまり「血液を作る根幹となる重要な細胞」と認識すればよいです。造血幹細胞には2つの能力があります。

1) 自己複製能：つまり自分と同じ能力をもつコピーを作る能力

2) 分化能：機能できる赤血球、白血球、血小板に成長する能力

です。

つまり適度に自分自身を複製しながら、必要に応じて一生、一定数の血液を確保し続けます。

